



BOSCH

独創を、みんなのものに

Inform.Impress.Inspire.

DICENTIS 会議システム



[boschsecurity.com](https://www.boschsecurity.com)

Bosch 会議システム

130年以上にわたり、Boschの名は、技術革新、品質、および信頼性の代名詞でした。Bosch Security Systemsは、真の世界水準の専門知識を基盤とし、65年以上にわたって会議システム市場をリードしてきました。これを実現できたのは、卓越した製品によってお客様のニーズに応じてきたからです。Boschは今後もこの姿勢を継続することをお約束します。



会議ソリューション市場は近年、急速な変化を遂げており、スタンドアロンシステムを避け、完全統合化ソリューションへと向かう傾向があります。このような統合化ソリューションでは、オーディオ、ビデオ、ソーシャルメディア、会議データなどの情報が、標準化されたインフラストラクチャとインター

フェイスを介して共有されます。こうした統合化ソリューションによって、システム設計の柔軟性とリモート操作機能に対する高い需要が生まれました。このようなトレンドのなかで、会議の効率性を最大化し、サードパーティとの統合しやすさを高める必要性が強調されています。

Boschは、最も革新的な会議プラットフォームを実現し、現在および将来のニーズに応えるために、専心的な取り組みを行っています。このような理由からBoschはIPベースの製品ファミリー、DICENTISを発表しました。DICENTISは、先進的な統合化会議環境を実現するための革新的なプラットフォームです。

DICENTIS 会議ソリューションは、中小企業から多国籍企業、さらには地方公共団体から政府機関、および国際サミットに至るまで、幅広い用途に理想的です。



今日の会議システムは多種多様な機能を求められており、ビデオ、ソーシャルメディア、リモート操作、拡張性をサポートする必要があります。



ニーズに合わせて拡張できるシステム Inform.Impress.Inspire.

- ▶ OMNEO メディアネットワークアーキテクチャに基づくオープンプラットフォームにより、システムの柔軟性および設置とメンテナンスのコストパフォーマンスが向上
- ▶ 支援システムと容易に統合できるため、自動カメラコントロールなどの機能を提供可能
- ▶ ライセンススペースの拡張性により、新しい機能を簡単に導入できる将来を見据えたシステムを実現可能
- ▶ 最適化されたユーザーエクスペリエンスにより、会議の効率性を最大化
- ▶ 最大 100 言語を同時通訳可能
- ▶ ケーブルおよび電源の冗長化により、会議中のシステムの中断を阻止

システムの柔軟性による将来に向けた拡張性を実現

DICENTIS 会議システムは、組織が急激に変化しても進化するニーズに応える適応性を備えています。これは、DICENTIS がオープンな規格に基づいて構築されており、サードパーティソリューションを含む複数の異なるテクノロジーを統合することができるためです。以下に例を示します。

- ▶ イーサネットおよび IP を使用しているため、既存のインフラストラクチャを再利用可能
- ▶ OMNEO の採用により、DICENTIS を別のオーディオおよび制御機器に接続可能
- ▶ Android™ 対応の DICENTIS マルチメディアデバイスにより、Android™ のカスタムアプリケーションが利用可能

コストパフォーマンス

DICENTIS 会議システムは、その中核部分に、Bosch が開発した独自の IP ベースの OMNEO メディアネットワークアーキテクチャを採用しており、完全に標準化されたイーサネットネットワーク経由で動作します。これにより、設置とメンテナンスにおける柔軟性

とコスト効率性が確保されます。また、このアーキテクチャにより、DICENTIS は、既存インフラストラクチャを再利用するために理想的なシステムとなっています。会議デバイスは、Bosch 電源スイッチングハブと Bosch システムネットワークケーブルを使用して、ループ型デジチェーン構成で接続できます。この構成は、時間節約型の柔軟なソリューションを実現します。あるいは、CAT5e (以上) のケーブルと標準的な PoE (Power over Ethernet) スイッチを使用して、スター構成で接続することもできます。

OMNEO とは

OMNEO とは、音声コンテンツや装置制御などの情報交換を行う必要がある装置を接続する設計方式です。OMNEO は IP やオープンパブリックな規格など様々な技術をベースとし、Audinate 社の Dante™ など近年の技術に対応するだけでなく、先進的な規格にも対応しています。OMNEO は、相互運用性のほか、市場の他の IP 製品と比較して簡単な設置、優れたパフォーマンスと拡張性を実現する独自機能を備えたプログレードのメディアネットワークソリューションです。



OMNEO **Dante™** **OCA**
OPEN CONTROL ARCHITECTURE



DICENTIS はオープンな規格に基づいて構築されているため、サードパーティソリューションを含むさまざまなテクノロジーを統合することができます。

ニーズに合わせた構成

会議システムに対するニーズは組織によってさまざまです。DICENTIS 会議システムが広範な機能を提供しているのはそのためです。以下の表で、お客様の組織で利用可能なシステムソリューションをご確認ください。

機能	DICENTIS マルチメディアデバイス	DICENTIS タッチスクリーン付きディスカッションデバイス	DICENTIS 言語選択機能付きディスカッションデバイス	DICENTIS 投票機能付きディスカッションデバイス	DICENTIS ディスカッションデバイス
デレゲート構成	X	X	X	X	X
議長構成	X	X	X	X	X
ディスカッション					
言語選択					
投票					
NFC による ID 確認					
デュアルモード					
自動カメラコントロール					
マルチメディア					

- 各アイコンの意味については 22 ページを参照してください。
- 自動カメラコントロールはシステムの機能です。DICENTIS システムでは、ONVIF 準拠の IP カメラをサポートしており、システムに自動カメラコントロールを簡単に統合することができます。
- DICENTIS マルチメディアデバイスのマルチメディア機能として、ドキュメント表示、インターネットアクセス、ライブビデオ、および他社製 Android™ アプリケーションの使用などがあります。

必ず結果を出すシステム

高い安全性と信頼性

DICENTIS 会議システムには独自のケーブルおよび電源の冗長性が組み込まれているため、まれにしか起きないシステム障害時にもデータが失われることはありません。また、システム内で伝送されるすべての音声データと制御データは、実績のある業界テクノロジーによって安全に暗号化されます。この暗号化方式は、最も厳しく国際的にも認知されている標準規格を満たすものです。これにより、改ざんや不正アクセスからデータが保護されます。この保護機能は、セキュリティ要件の厳しい会議や非公開の会議では非常に重要となります。

いつでも最新の機能を提供

DICENTIS 会議システムでは、ソフトウェアが定期的にアップデートされるため、容易に拡張して新しく開発された機能を組み込むことができます。高い費用を払ってハードウェアを交換する必要はありません。契約には、ライセンスシステムとシートソフトウェアに加え、他社製 Android™ アプリケーションによる追加のシステム機能も含まれます。お客様のシステム保守をお手伝いするために、Bosch ではソフトウェアメンテナンス契約 (SMA) をご用意しています。このサービスにより、DICENTIS 会議システム全体が、プラットフォームと各サーバーでシームレスに継続動作するようになります。これにはシステム用ソフトウェアおよび互換性プラグインの他に、インターネットベースのさまざまなアプリケーションが含まれています。

自動カメラコントロール

DICENTIS システムでは、ONVIF 準拠の IP カメラをサポートしており、システムに自動カメラコントロールを簡単に統合することができます。ONVIF は、市場をリードするネットワークビデオの世界標準規格です。これにより、会議の参加者は常に、発言中の人物をホールディスプレイで見ることができます。さらに、DICENTIS は CGI プロトコルを使用する Sony および Panasonic カメラにも対応しています。

環境にも優しい

DICENTIS は、環境に対する影響を最小限に抑えるように設計されています。環境に対する影響を抑えるため、システムはスタンバイモードに切り替えることができます。この特許出願中の機能を使用することで、議長は、参加者全員のデバイスの電源を即座にオフにできるため、消費電力を大幅に削減し、会議がない時間および休憩中の節電も可能になります。

DICENTIS はあらゆる機能を備えた会議システムの新しい標準で、ディスカッション管理、言語選択、投票、マルチメディア機能、ライブビデオフィード、デュアルモード、インターネットアクセス、ドキュメント表示、サードパーティ製アプリケーションなどに対応しています。



業界最先端の機能を備えた独自の会議デバイス 目の前のディスカッションに集中

- ▶ 高指向性マイクとインテリジェントなハウリング抑制により、極めてクリアな音声再生を実現
- ▶ スピーカーとマイクを同時にアクティブにすることで、優れた音声明瞭度を実現
- ▶ 人間工学に基づく最適なデザイン
- ▶ 「発言可能」インジケータなどの高度なディスカッション機能により、当該機能が利用可能な場合は、即座にディスカッションに参加可能

クリアで自然な音声

すべての DICENTIS 会議デバイスでは、インテリジェントな Bosch 独自のハウリング抑制機能を採用しています。これにより、音量を大きくする必要がある場合でも明瞭度を最大限に維持できます。このテクノロジーを使用すると、エコーとハウリングを回避できるため、クリアな音声を得られます。

また、スピーカーとマイクを同時にアクティブにできるため、自然な音声を得られます。参加者と議長は常に、会議を楽に聴くことができ、ディスカッションの内容に集中できます。



差し込み式マイク

すべての DICENTIS 会議デバイスでは、3種類の差し込み式マイクを使用できます。すなわち、ロングアーム、ショートアーム、高指向性の3種類です。高指向性マイクでは、Boschの高指向性テクノロジーを採用しているため、発話をクリアに再生できると同時に、ディスクリート設計により発話者がメッセージを自然な形で伝えることができます。

音響条件の悪い場所や、発話者が演壇に立って話す場合には、ロングアームまたはショートアームの単指向性マイクが最適です。

明瞭度の向上

人と人が対話をする上で、デザインは重要な役割を担っており、建設的な対話を促進する環境を作り上げる際の中心となるものです。BoschがDICENTIS会議デバイスの物理的デザインの研究開発に膨大なリソースを投入した理由もそこにあります。その結果、優れたエルゴノミクス、卓越した使いやすさ、洗練されているながらも控えめな外観が実現されました。

会議の効率性を維持

DICENTISシステムは、会議の構造と効率性を最適化するように設計されています。使用中のすべてのDICENTIS会議デバイスについて、基本的なディスカッション設定を定義できます。会議はオペレータまたは議長が管理できます。具体的には、会議の開始と終了、投票の開始、発言できる参加者および同時に発言できる人数の決定などを行うことができます。議長は優先ボタンを押すことで、必要なときはいつでも、すべての参加者のマイクを一時的にオーバーライドできます。

すべての会議デバイスは、参加者用デバイスまたは議長用デバイスとしてソフトウェアで構成できるため、必要なハードウェアの量を最小限に抑え、コストパフォーマンスを最大化できます。



DICENTIS マルチメディアデバイス

Inform.Impress.Inspire.

- ▶ 使い勝手のよい7インチの静電容量タッチスクリーンにより会議エクスペリエンスを向上
- ▶ 受賞実績のある最先端のデザイン
- ▶ 内蔵の近距離無線通信 (NFC) カードリーダーにより、参加者の迅速な ID 確認と投票が可能。既存の登録カードも利用可能
- ▶ 2 ウェイスピーカーシステムにより、極めて高い明瞭度と音質を実現
- ▶ 発言中の参加者のライブビデオをデバイス画面に表示可能
- ▶ インターネットアクセス環境とドキュメント閲覧により、常に最新の共有情報が表示され、その場で最終的な修正を行うことも可能

優れた操作性

DICENTIS マルチメディアデバイスの直感的なグラフィカルユーザーインターフェイスと使いやすいタッチスクリーンにより、参加者同士の対話が促進され、快適な操作性が実現されます。同時通訳が行われている場合、参加者は母国語でディスカッションの内容をフォローできます。タッチスクリーンマルチメディアデ

バイスには、オーディオ、ビデオ、会議データ、インターネットアクセス、および利便性の高い電子投票機能が統合されています。これらの機能により、参加者は、各自のタッチスクリーンで関連情報を参照したりインターネットにアクセスして、会議に効率的に貢献できます。こうした参加者の行動は、議長の完全な管理下にあります。

会議の進行に楽についていくことができ、ごく自然に発言できます。必要な情報はすべて指一本動かすだけですぐに手に入ります。



魅力的なインターフェイス

DICENTIS マルチメディアデバイスでは、広く普及している Android™ オペレーティングシステムを利用して魅力的なインターフェイスを実現しています。また、カスタムアプリケーション、または、サードパーティのアプリケーションを使用して、会議の効率をさらに高め、会議室管理の統合性を強化できます。

優れたデザイン (数々の賞を受賞)

スタイリッシュでインターネット対応の DICENTIS マルチメディアデバイスはエレガントで人間工学に基づいたデバイスで、どのようなインテリアにもよく似合います。DICENTIS マルチメディアデバイスは、2014 年の Red Dot デザイン賞や 2015 年の German デザイン賞など、有名な賞をいくつも受賞しています。

一言一句クリアに

DICENTIS マルチメディアデバイスからは、並外れた音質と明瞭度の音声が出力されます。音源が、音楽であろうと話し言葉であろうと関係ありません。内蔵の 2 ウェイスピーカーシステムによる独自の音響デザインにより、音声スペクトルを正確に再生します。Bosch 設計のさまざまなテクノロジーが、より自然な音声の実現にさらに貢献します。高度なイコライゼーションにより会議室全体の音響が最適化されると同時に、Bosch が開発したインテリジェントなハウリング抑制テクノロジーにより、大きい音量が必要な場合でも音声の明瞭度を最大限に高めることができます。

発言者の表情まで見える

DICENTIS システムは、自動カメラコントロールもサポートしているため、Bosch HD Conference カメラを使用して高解像度の画像表示ができ、参加者はそれぞれの画面で発言者の表情を確認できます。

名札ホルダー付き

デバイス後部にマグネット式の名札ホルダーを取り付けるスペースが設けられているため、各参加者は、発話中の人か誰なのか容易に確認できます。会議前に参加者同士の面識がない場合に非常に便利です。

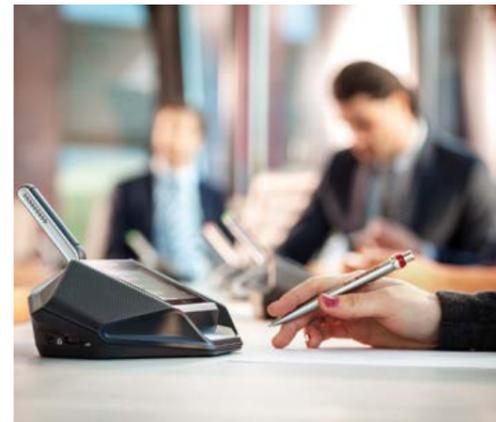


DICENTIS タッチスクリーン付きディスカッションデバイス

- ▶ 4.3 インチのタッチスクリーンで、参加者一覧、投票ボタン、選択言語を確認できるため、会議の効率性が向上
- ▶ 内蔵の近距離無線通信 (NFC) カードリーダーにより、参加者の迅速な ID 確認と投票が可能。既存の登録カードも利用可能
- ▶ デュアルモードでの使用により必要な装置の数を最小限に抑えることで、コスト削減、会議用テーブルのスペースの最大活用が可能



DICENTIS タッチスクリーン付きディスカッションデバイスは、1人で使用する場合でも2人で共有する場合でも、直感的でクリアな会議エクスペリエンスを実現します。



DICENTIS タッチスクリーン付きディスカッションデバイスには NFC カードリーダーも組み込まれており、迅速に参加者の ID を特定可能。参加者は、既存の登録カードをデバイスの近くに置いておくだけで、システムに認識させることができる

Bosch の高指向性差し込み式マイクにより、卓越した音声明瞭度を実現



デバイスの左右にあるスライダーでヘッドフォンの音量調整が可能



タッチスクリーンに参加者の名前が参加者の母国語の文字で表示されるため、発言者および発言待ちの参加者が一目瞭然。タッチスクリーンは、言語の選択や投票にも使用される



「発言可能」インジケータにより、マイクボタンを押すとすぐに発言できることを参加者に通知

発言機能以外にも豊富な機能を用意

DICENTIS タッチスクリーン付きディスカッションデバイスでは、4.3 インチの静電容量タッチスクリーンにより、参加者をガイドし会議の効率性を高めます。参加者は、今誰が発言しており、次に誰が発言するのかを画面で確認できます。カスタマーロゴを表示でき、参加者は、母国語で会議の進行についていくことができます。投票情報も画面で確認できます。

2カ国語を同時に

2人の参加者が1台の DICENTIS タッチスクリーン付きディスカッションデバイスを使用することで、両者がそれぞれ、ディスカッション管理、ID 管理、投票、言語の選択を行えます。何より、2人の参加者がヘッドフォンを着用し、会議の進行をそれぞれの母国語で聴くことができます。両者は、NFC カードでサインオンし、自分の母国語チャンネルを母国語の文字で選択できます。



reddot award 2015
winner



DICENTIS 言語選択機能付きディスカッションデバイス

- ▶ 画面には各言語がその国の文字で表示されるため、参加者は自国の言語を簡単に見つけて選択し、会議に集中できる
- ▶ 内蔵の近距離無線通信 (NFC) カードリーダーにより、参加者の迅速な ID 確認が可能。既存の登録カードも利用可能
- ▶ デュアルモードでの使用により必要な装置の数を最小限に抑えることで、コスト削減、会議用テーブルのスペースの最大活用が可能

迅速かつ簡単な言語選択

会議の通訳が行われている場合、参加者はヘッドセットを接続し、会議が始まる前に聴きたい言語を選択するだけです。言語の選択メニューは必要なときのみ表示されるため、すぐにわかります。選択メニューは各国語で表示されるため、参加者は自分の母国語を簡単に見つけることができ、会議の冒頭部分を聞き逃すこともありません。最初から、進行中の議題の内容に集中することができます。

2人で1台

DICENTIS 言語選択機能付きディスカッションデバイスでは、1つの共通言語を選択した状態で、デュアル ID およびデュアルディスカッションの設定が可能です。



選択画面の各国語の文字と記号は非常に読みやすく、参加者は容易に母国語を選択可能

DICENTIS 言語選択機能付きディスカッションデバイスには、NFC カードリーダーも組み込まれており、迅速に参加者の ID を特定可能。参加者は、既存の登録カードをデバイスの近くに置いておくだけで、システムに認識させることができる

Bosch の高指向性マイクにより、音声の明瞭度が向上し、参加者はごく自然に議論に参加可能



マイクボタンにより、直感的に (デュアル/議長) 参加可能

音量調整ダイヤルにより、ヘッドフォン着用時一言一句聞き取り可能



DICENTIS 投票機能付きディスカッションデバイス

- ▶ 投票機能が必要なときだけ、各デバイスの色分けされた投票タッチボタンが点灯するため、参加者は簡単かつ迅速に投票できる
- ▶ 内蔵の近距離無線通信 (NFC) カードリーダーにより、参加者の迅速な ID 確認と投票が可能。既存の登録カードも利用可能
- ▶ 秘密投票がサポートされているため、他の参加者の影響を受けない投票結果が保証される

DICENTIS 投票機能付きディスカッションデバイスには、NFC カードリーダーも組み込まれており、迅速に参加者の ID を特定可能。参加者は、既存の登録カードをデバイスの近くに置いておくだけで、システムに認識させることができる

色分けされた投票ボタンが投票時のみ点灯

Bosch の高品質スピーカーによる卓越した音響デザインと音響処理

「発言可能」インジケータにより、マイクボタンを押すとともに発言できることを参加者に通知



ボタンを押すだけ

参加者は、デバイスの光る色分けされたいずれかのボタンを押すだけで投票できます。これらのボタンは議長が投票を開始したときのみ表示されるため、ディスカッションの最中に参加者の集中を会議からそらすことはありません。

秘密投票

DICENTIS 投票機能付きディスカッションデバイスでは、「秘密投票」が可能です。この設定では、参加者が投票を完了した瞬間に投票 LED が見えなくなります。これにより、各参加者が隣の参加者の投票に影響を受けることがなくなります。



投票ボタンは、議長が投票プロセスを開始したときのみ画面に表示されるため、参加者が会議への集中力を削がれることはありません。



DICENTIS ディスカッションデバイス

- ▶ 「発言可能」インジケータにより基本的な会議進行を促し、すべての参加者にとって最もわかりやすい使い勝手を実現

DICENTIS ディスカッションデバイスを使用すると、参加者は、会議中に発言し、発言リクエストを登録し、他者の発言を聞くことができます。他のすべての DICENTIS 会議デバイスと同様、このディスカッションデバイスにも「発言可能」機能が用意されています。このシグナルが点灯しているときは、ボタンを押

すとすぐに発言を開始できます。ベーシックデバイスには、ソフトウェアライセンスを購入することでデュアルモードでも使用できるため、コスト効率の高い柔軟な会議ソリューションを実現できます。これにより、半分の数のデバイスで、会議の参加人数に十分に対応できるセットアップが可能です。



DICENTIS ディスカッションデバイスでは、直感的な使いやすさ、視野の妨げにならないマイク、クリアな音声により、すべての会議参加者が進行中の議題に集中できます。



DICENTIS 通訳デスク

あなたの言語を話す

- ▶ 言語の入力セクションと出力セクションを論理的に分割することで直感的に操作でき、個人のプリセットや割り当て可能なボタンを使用可能
- ▶ 触覚で操作可能なボタンおよびノブにより通訳デスクを見ずにすみ、オプションで可聴音によるフィードバックが提供されるため、視覚障害のある通訳者にとっても使いやすい設計
- ▶ 最大 100 の通訳言語を利用でき、将来のニーズに対応
- ▶ 最新の同時通訳規格 ISO-20109 に準拠
- ▶ パッシブな会議室の連結で参加者数を増やすことが可能な柔軟性の高い構成



通訳者の発言機能、これが通訳デスクに求められるものです。世界中の通訳・技術の専門家を観察、インタビューし、通訳デスクの設計を通訳者の実際のニーズに合わせて最適化しています。その結果、最新の市場要件だけでなく将来の市場要件にも準拠し、通訳者が最大限の自由度を持って作業に集中可能な通訳デスクを実現しました。システムはすばやく簡単に設置および構成できます。通訳デスクおよび通訳者システムの設定は、通訳デスク自体を使用して構成可能です。PC アプリケーションを使用すると構成を詳細に最適化できます。

直感的な操作

DICENTIS 通訳デスクのパッシブでコントラストの高い画面では、入力言語セクションと出力言語セクションを縦 2 列に論理的に分割し、すぐに把握できるだけでなく直感的な操作も可能です。個人プリセットを通訳者の NFC カードで呼び出せます。通訳プロセス全体を通じ、関連情報のみが表示され、使用されていない機能は非表示にできます。DICENTIS 通訳デスクのインターフェイスは簡単で慣れ親しんだ機能のみが表示されており、経験の少ないユーザー向けに構成可能です。

国際機関、会議場、
レンタル会社に最適

目で確認しなくても操作可能

人間工学に基づくデザインで、触覚で操作可能なボタンとノブ、可聴音によるフィードバックが提供されるため、コントロール性が向上し、通訳デスクを見なくても操作可能です。これにより、通訳者は発言者の非言語コミュニケーションを観察し、可能な限り最高の通訳を行えます。

安全でセキュリティを確保

DICENTIS では国際的に認められ、すべての音声およびデータに対応した暗号化規格を使用しており、これを通訳にも適用しています。機密性が高い会議では、この暗号化により盗聴、不正アクセス、データ改ざんから最適な保護が得られます。

ショートアームマイクのため
最高の音声明瞭度が得られ、
通訳デスクに最適

入力言語と出力言語が縦並び
のため直感的に操作可能

触覚で操作可能なボタン
およびノブによりコ
ントロール性が向上

可聴音によるフィード
バックが提供され、特に視
覚障害のある通訳者にと
っても使いやすい設計



コントラストの高い画面により
迅速に把握可能

割り当て可能な 3 つのボ
タンではショートカットキ
ー機能を使用でき、通訳者
は「ゆっくり話す」、「再
生」、「ビデオ選択」など
のサポート機能にすばやく
簡単にアクセス可能

NFC カードリーダーを統合し、
通訳者は個人設定に迅速にアク
セス可能



システムソフトウェアコンポーネント

DICENTIS システムサーバソフトウェアライセンス

- ▶ ライセンスベースの拡張性により、将来を見据えたシステムを実現可能
- ▶ ソフトウェアのアップグレードにより新しいシステム機能を導入。高価なハードウェアの交換は不要
- ▶ デバイスの自動検出
- ▶ 参加者のために最大 750 台の DICENTIS デバイスをコントロール可能
- ▶ クライアントサーバソリューション
- ▶ システム実行のためのユーザー操作不要
- ▶ フロアと言語用の Dante™ 入力/出力

DICENTIS シートソフトウェアライセンス

- ▶ 投票ライセンス (1 座席用)
- ▶ ID ライセンス (1 座席用)
- ▶ 投票ライセンス (デバイスあたり 2 座席用)
- ▶ 言語選択機能ライセンス (1 座席用)



DICENTIS ソフトウェアメンテナンス契約

- ▶ シームレスで最高のシステム性能を実現
- ▶ 定期アップデートを入手可能
- ▶ ソフトウェアメンテナンス契約は、1 年、2 年、または 5 年間の単位で延長可能

簡単に設置でき、サードパーティを統合可能

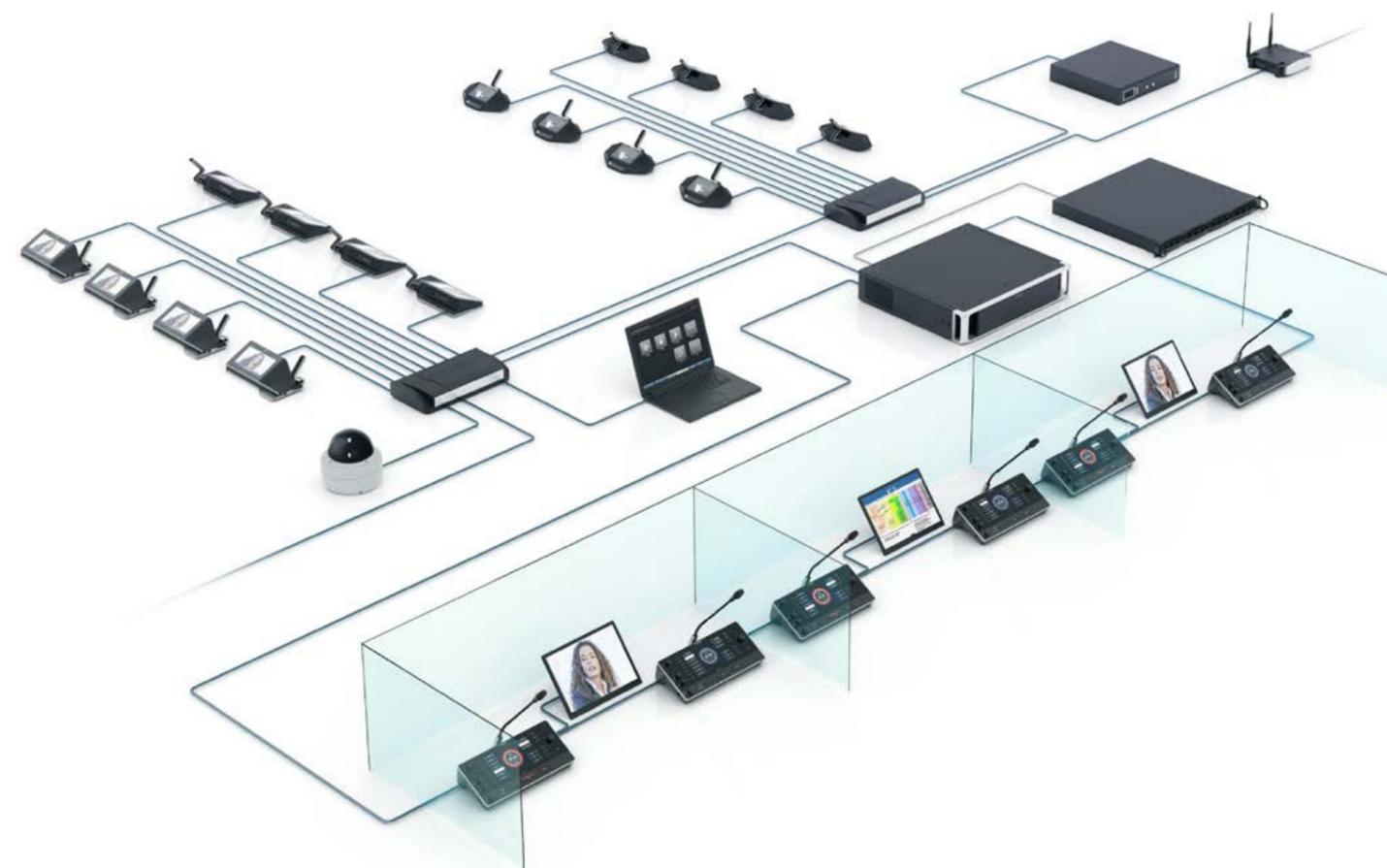
DICENTIS 会議システムは最先端の IP テクノロジーを活用したネットワークソリューションで、追加のビデオ配線を設置することなく複数のビデオフィードを通訳者に配信できます。通訳者が発言者の近くにいないときは、画面に発言者の顔の表情、別の画面には会議のプレゼンテーションが同時表示されるので、より正確な通訳を行うのに役立ちます。また、サードパーティ製の外部画面を DICENTIS 通訳デスクの HDMI ビデオ出力に接続できます。OMNEO IP テクノロジーを活用することで、既存のネットワークインフラストラクチャやサードパーティ製ソリューション (Dante™ オーディオなど) を使用できます。

将来に向けた拡張性

また IP も活用しているため、システムの通訳言語を最大 100 言語に拡張可能です。DICENTIS 通訳デスクは ISO-20109 にも準拠し、通訳機器の高品質および統一を図ることで、通訳者は何を期待すべきか予想できます。

柔軟性の高い構成

現在、国際会議場ではさらに高い柔軟性が求められています。参加者数には主催されるイベントごとに差があります。場合によっては、定員の増員が必要となり、会議室の収容人数を増やす必要があります。こうした理由を踏まえ、DICENTIS 会議システムでは、進行を聞くことができる参加者数をパッシブな会議室の連結により増員できるよう、容易に構成および再構成を行うことが可能です。端的に言うと、DICENTIS 会議システムは、どのような場合でもあらゆるユーザーのニーズに対応します。



システムハードウェアコンポーネント

DICENTIS セントラルユニット

DICENTIS オーディオ電源スイッチングハブ

- ▶ DICENTIS 会議システムのすべてのデバイスに電源を供給
- ▶ ネットワークなしの構成による容易な設置を実現
- ▶ イーサネット (IEEE802.3)、OMNEO、および Dante™ との完全互換により、サードパーティ製装置と接続可能
- ▶ ループスルー接続のサポートによる設置コストの削減
- ▶ ケーブル冗長性のサポートによりシステム可用性を最適化
- ▶ インテリジェントなハウリング抑制およびイコライザーにより最適な音質を実現
- ▶ スタンバイモードにより省電力を実現
- ▶ アナログ音声入力/出力

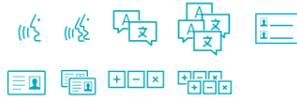


DICENTIS 電源スイッチングハブ

- ▶ DICENTIS 会議システムのすべてのデバイスに電源を供給
- ▶ ネットワークなしの構成による容易な設置を実現
- ▶ イーサネット (IEEE802.3) および OMNEO に完全適合
- ▶ ループスルー接続のサポートによる設置コストの削減
- ▶ ケーブル冗長性のサポートによりシステム可用性を最適化
- ▶ スタンバイモードにより省電力を実現

DICENTIS タッチスクリーン付きディスカッションデバイス

- ▶ ユーザーの ID 確認 - デバイス内蔵の NFC リーダーにより、会議の場でさまざまな ID カードを使用して参加者を登録可能
- ▶ デュアルモードでディスカッション、ID 確認、言語選択、投票が可能
- ▶ 可能なため、最小限の装置台数で最大限の効率性を実現し、コストを削減可能。スペースが限られている会場に理想的
- ▶ 言語選択機能により、参加者は会議の進行をそれぞれの母国語で聴くことが可能
- ▶ 発言者が誰かを示す参加者一覧など、画面に表示される会議情報により、会議管理機能を向上
- ▶ 投票・タッチスクリーン上の色分けされたボタンで迅速かつ容易に投票可能



アイコン凡例

- 🎤 ディスカッション
- 🎤 デュアルディスカッション
- 👤 ID
- 👤 デュアル ID
- 🗳️ 投票
- 🗳️ デュアル投票
- 🗣️ 言語選択
- 🗣️ デュアル言語選択
- 👤 参加者リスト管理
- 📺 ライブビデオフィード
- 📺 サードパーティアプリケーション
- 📄 ドキュメント表示
- 🌐 インターネットアクセス
- 📊 プレゼンテーション表示

DICENTIS 通訳デスク

DICENTIS 通訳デスクを使用すると多言語での会議、会合、プレゼンテーションで同時通訳を行います。ビデオ出力機能付き DICENTIS 通訳デスクでは、通訳者に現在の発言者やプレゼンテーションが表示されます。HDMI ビデオ出力によりサードパーティ製の外部画面に簡単に接続できます。ビデオ画像は通訳デスクの割り当て可能なボタンのいずれかを使用して選択可能です。



DICENTIS 言語選択機能付きディスカッションデバイス

- ▶ ユーザーの ID 確認 - デバイス内蔵の NFC リーダーにより、会議の場でさまざまな ID カードを使用して参加者を登録可能
- ▶ 言語選択 - 同時通訳が行われている場合、参加者は母国語で聴くことが可能
- ▶ デュアルディスカッション、デュアル ID - 2 人の参加者が同じデバイスを同時使用可能



DICENTIS 投票機能付きディスカッションデバイス

- ▶ ユーザーの ID 確認 - デバイス内蔵の NFC リーダーにより、会議の場でさまざまな ID カードを使用して参加者を登録可能
- ▶ 投票 - 色分けされた投票タッチボタンで迅速かつ容易に



DICENTIS ディスカッションデバイス

- ▶ 「発言リクエスト」やデュアルディスカッション (2 人の参加者が同じデバイスを使用) などの先進の機能によるクリアで生産的なディスカッションを実現



DICENTIS マイク 3 種類の差し込み式マイクから選択可能

高指向性マイク

- ▶ Bosch の高指向性テクノロジーにより極めてクリアな音質を実現
- ▶ ディスクリット設計により、発言者はメッセージを自然に伝えられる
- ▶ 自由に移動可能

ロングアームマイクまたはショートアームマイク

- ▶ 480 mm および 310 mm アームモデル
- ▶ 音響効果の悪い場所にも対応
- ▶ 演壇など、立って話をする場所にも対応

DICENTIS マルチメディアデバイス

- ▶ ユーザーの ID 確認 - デバイス内蔵の NFC リーダーにより、会議の場でさまざまな ID カードを使用して参加者を登録可能
- ▶ 言語選択 - 同時通訳が行われている場合、参加者は会議を母国語で聴くことが可能
- ▶ 投票 - タッチスクリーン上の色分けされたボタンで迅速かつ容易に投票可能
- ▶ 発言者が誰かを示す参加者一覧など、画面に表示される会議情報により、会議管理機能を向上
- ▶ ライブビデオフィード - リアルタイムのビジュアルコンテンツ
- ▶ サードパーティアプリケーションによる高度な機能
- ▶ ドキュメント表示により容易に情報共有可能
- ▶ インターネットにアクセスして情報や人 (の略歴) を参照可能
- ▶ プレゼンテーション表示
- ▶ Android™ - カスタムアプリケーション構築用 API



DICENTIS 運搬用ケース

- ▶ 高い堅牢性で安全な輸送と保管が可能
- ▶ 機器に合わせて型取りされたフォーム材の内装
- ▶ 機器を簡単に梱包、開梱、運搬
- ▶ 運搬に便利なキャスタ付き大型ケース、クッショングリップハンドル、トリガーリリースラッチ付き



Bosch Security Systems

詳しくはウェブサイトをご覧ください。
http://www.boschsecurity-jp.net/Pro_Audio/メール宛先 :
sales@boschsecurity-jp.net

© Bosch Security Systems, 2018
Printed in The Netherlands
Modifications reserved
CO-EH-ja-01_F01U561187_02